

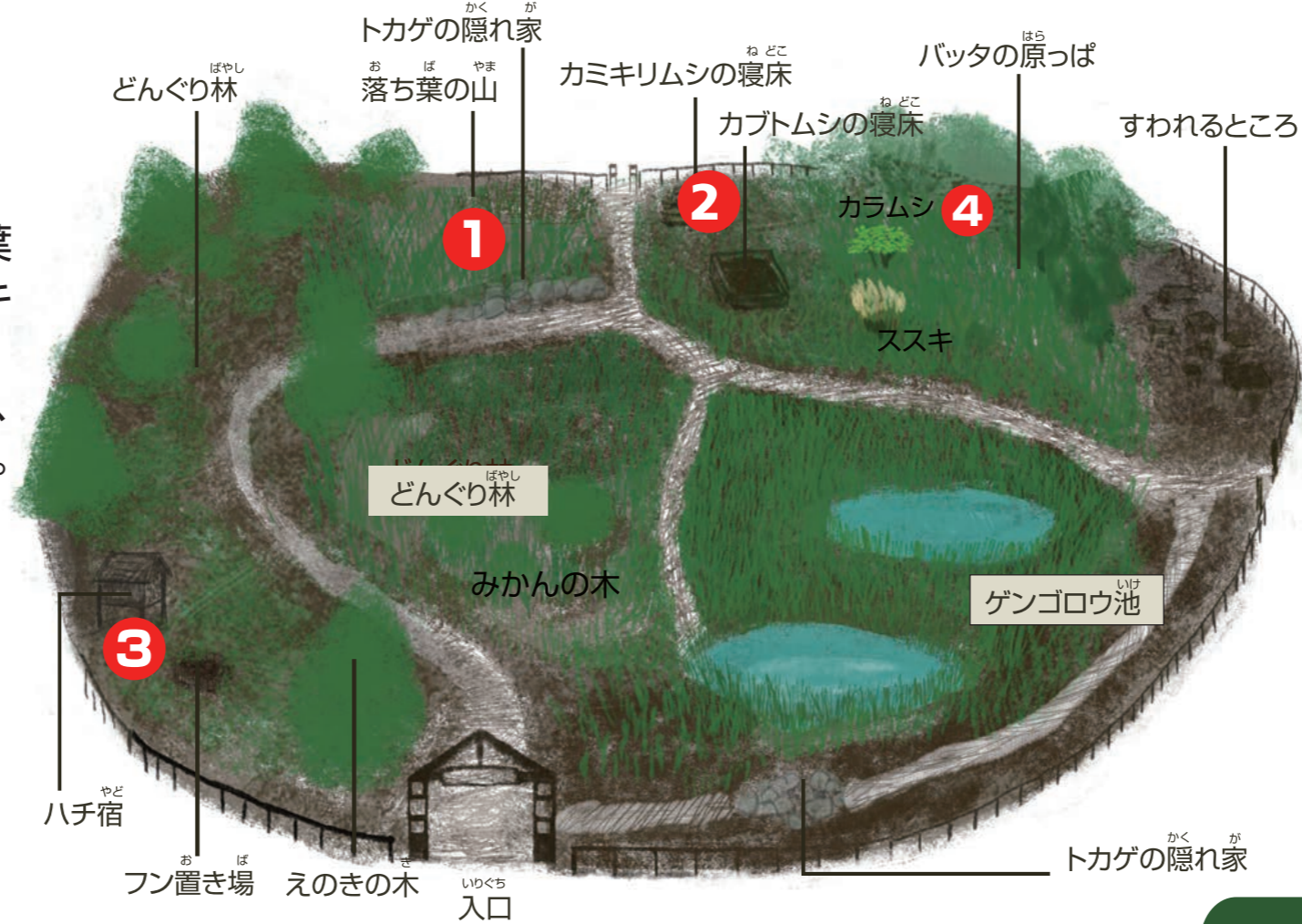
1 落ち葉の山



今週の

いきもの広場

いきもの広場は、動物園の中に作った「近所の自然」です。広場のなかには様々な環境や生き物と出会うための小さな仕掛けがたくさんあります。12月に入り、いよいよ本格的な冬がやってきました。いきものたちもそれぞれ違った形で寒い冬を乗り切ります。



4 カブトムシの幼虫



落ち葉を集めた腐葉土のあたりで土を掘り返してみると、たくさんの幼虫が見つかります。この時点で個体差はありますが、8~10cmほどあります。そして幼虫のまま冬を越し、来年の夏に立派な成虫になります。

この落ち葉は、カブトムシのための腐葉土を作るところで、分解されやすいケヤキやクヌギの葉を集めています。来年の夏、カブトムシが卵を産みに来て、冬にはたくさんの幼虫が見られるでしょう。

2 コクワガタの幼虫



朽木を割ってみると、中から出てきました。カブトムシの幼虫と似ていますが、頭部の色はうす茶色で、大きさは3~5cmと小さめです。

3 アリジゴクの巣



ウスバカゲロウの、幼虫の巣でアリジゴクと呼ばれます。雨が当たらず、乾燥したところにすりばち状の巣を作り、そこに落ちた昆虫の体液を吸います。体液を吸い終えた昆虫は巣の外にぽいっと投げて出すそうです。

冬のいきもの広場

11月~3月まで冬季の活動に伴い、毎月第2日曜日みの活動となります。

11月~3月の活動日

- 11月11日 12月9日
- 1月13日 2月10日
- 3月10日